

# 理科支援員となって 理科の面白さを伝えよう

あなたも理科支援員になって、小学校5、6年生の理科の観察や実験の準備、理科の授業のお手伝い、後片づけなど、先生と協力しながら、児童とのふれあいを体験してみませんか。

## 1. 理科支援員の業務

主な業務は、事前に5、6年生を担当する先生と打ち合わせをして以下の支援を行います。

理科の授業で行う観察、実験の準備をします。

授業中は観察、実験のお手伝いをしたり、観察、実験を行っている児童の支援をします。

授業が終わってから、観察、実験器具の整理や薬品の後始末などの後片づけをします。

その他に、

先生の要望に基づき、一緒に理科の授業のプランを検討したり、教材開発に協力します。

理科支援員は、支援員を希望した市町村立小学校に配置され、あらかじめ定められた日時に学校に出勤します。日程・時間の調整は事前に学校と十分打ち合わせしてください。1つのクラスについて年間30回くらい支援します。

**この事業は北海道内の市町村立小学校(札幌市は別途)が対象です。**

## 2. 理科支援員の報酬及び公務災害補償

1コマ(45分)の理科の授業につき、実験の準備(1時間)、授業(1時間)、後片づけ(1時間)を含めた3時間を基準にしていますが、状況に応じてもっと増えたり、減ったりすることもあります。時給1,000円の報酬が翌月10日に指定した口座に振り込まれます。北海道の職員に準じた通勤手当相当額も一緒に振り込まれます。また、理科支援員の公務上の災害による補償については、「労働者災害補償保険法」が適用になります。

## 3. 理科支援員の配置 <支援員を希望しても、必ず配置されるとは限りません>

理科支援員の配置は次の手順で行われます。

### 配置まで

理科支援員の配置を希望する市町村教委・小学校が、北海道立教育研究所附属理科教育センターに配置要望を上げる。

理科支援員を希望する大学生等が支援員応募票で応募する。(応募期間 4月3日～4月24日)

理科支援員の配置を希望する市町村教委・小学校が支援員応募者と連絡を取り、日程等の調整を行う。

理科支援員の配置を希望する市町村教委・小学校は、支援員応募者と勤務の条件を調整し、調整が成立すると、支援員が任用され、小学校に配置されます。(配置期間 5月1日以降から、来年2月まで)

**希望する小学校がなかったり、小学校の希望と応募者の希望が一致しなければ、配置されません。**

### 配置後

小学校理科の教科書が貸与され、配置された小学校と事前打ち合わせを行います。

いよいよ、小学校で理科支援活動を開始します。

翌月10日に報酬を受け取ります。(銀行口座振替)

北海道立教育研究所附属理科教育センターが実施する養成研修・実技研修を受けることができます。

## 4. 心構え

支援員の活動及び服務については配置された小学校の指示に従ってください。

支援員は北海道教育委員会の非常勤職員として任用されます。アルバイトではありません。

校長先生が服務管理者になります。教育職員として自覚を持って勤務してください。

遅刻や無断欠席、信用を失墜する行為等は厳に慎んでください。

児童生徒に対しては言葉遣いや服装についても適切な対応をしてください。

**連絡先** 069-0834 江別市文教台東町4番地

北海道立教育研究所 附属理科教育センターSCOT事務局

TEL 011-386-1966 FAX 011-386-1977

ホームページ <http://www.ricen.hokkaido-c.ed.jp>

e-mail [nakamura.scot@hokkaido-c.ed.jp](mailto:nakamura.scot@hokkaido-c.ed.jp)